

# 山陰近畿自動車道早期実現促進大会

補足資料②

【開催日時】令和2年12月20日（日） 13:30～15:30

【場所】京都府丹後文化会館 ホール（京丹後市峰山町）

【主催】丹後・地域高規格道路推進協議会（舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）

【後援】京都府、京都府高速道路網整備促進協議会

【内容】1 開会宣言 2 主催者挨拶 3 来賓祝辞 4 来賓紹介 5 祝電披露  
6 基調講演 7 意見発表 8 大会決議 9 要望書手交 10 閉会挨拶

【参加者数】約430人



【京都府丹後文化会館 ホール】

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため席の間隔を空けて着席していただき大会を開催。

【主催者挨拶】



会長（京丹後市長）  
中山 泰

山陰近畿自動車道の早期全線整備は、国防機能の支援、防災・減災の上でも喫緊に重要。地方創生のためにも重要な公助の基盤であります。一日も、一刻も早い整備を強く強く切望する。

【開会宣言】



副会長（伊根町長）  
吉本 秀樹

山陰近畿自動車道は「繋がってナンボ」であります。早期整備の要望が霞ヶ関に届くように皆さんで一致団結して大きな声をあげましょう。

## 来賓祝辞 コロナ禍の中「道路にかける熱意」を強く感じている！



衆議院議員  
本田 太郎 様

道路は繋がってはじめて丹後地域の方と都会の方との生活環境を比べることができる。物流・観光どれをとっても道路がないとできない。皆さんと力を合わせて早期に道路が繋がるよう頑張っていく。



参議院議員  
西田 昌司 様

コロナ対策で国家が国債を発行しても円高となっている。国家が国債を資本としてミッシングリンクを解消するための財源を確保できる新しい財政の仕組みを築いていくことがわれわれの使命である。



参議院議員  
二之湯 智 様

コロナ禍で東京一極集中が問題となり、地方回帰を促進していく必要がある。そのためには国が高規格道路の整備をする必要があり、地方は用地買収に協力する仕組みで整備できるよう国に要望していく。



京都府副知事  
山下 晃正 様

人生50年時代から85年時代になった。寿命が延びたのは衛生環境の都市基盤の道路条件が良くなったことが大きい。山陰近畿自動車道が早期に整備できるよう府としても精一杯頑張っていく。



京都府議会議長  
田中 英夫 様

日本海側は太平洋側に比べて道路整備が遅れている。皆さんの山陰近畿自動車道の早期整備の熱意を府議会として全国の府県議会とも連携しながら国に向けてしっかりと声をあげていく。



## 基調講演 「地域を支える強靱な道路を次世代へ」

国土交通省近畿地方整備局 局長 溝口宏樹 様

「山陰近畿自動車道」の一日も早い全線開通に向けて国土交通省としても全力をつくす。今後も地元の熱い思いを各方面に届けていただきたい。

【講演の内容】強靱な道路整備を進めていくために、以下の4つの視点から現状と課題について講演

- ① 加速化すべき道路施策
  - ・直面する課題
  - ・加速化すべき道路施策
- ② 山陰近畿自動車道の整備状況
- ③ 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策
- ④ 国土交通省 TEC-FORCE による被災自治体支援



### 意見発表

## 早期整備は「丹後地域の産業活性化」のために必要！



株式会社丹後王国ブルーベリー  
代表取締役社長 中川 正樹 様

丹後王国ブルーベリーは地域商社として丹後の農産物を京都や東京へ卸売りをしている。その中で丹後の果物等を新鮮な状態で販売するには物流の問題がある。丹後は若い農業者に世代交代しており頑張っているので早期に高速道路を整備して物流の問題を解決して欲しい。



株式会社紫野和久傳  
代表取締役会長 桑村 綾 様

和久傳は丹後から京都へ店を移転して38年になる。道路整備により京都市内から車で2時間弱で丹後へ行けるようになり久美浜に物販工場を建設。今後は丹後に料理学校を作りたいと思っている。山陰近畿自動車道の早期整備は地方創生のうえでも大事。

### 【大会決議】

### 【閉会挨拶】



「山陰近畿自動車道」の早期実現を願い協議会会長 副会長・監事が国会議員・国・府へ要望書を手交



副会長（宮津市長）  
城崎 雅文



副会長（舞鶴市長）  
多々見 良三

- ・大宮峰山道路の事業推進
- ・網野ICまでの早期事業化
- ・府県境までの早期ルート決定
- ・「防災・減災、国土強靱化のための五か年加速化対策」を進めるため各年度の計画的な執行が可能となる予算措置の実施
- ・直轄権限代行や頻発する大規模自然災害等に対応するための地方整備局等の体制の充実・強化

私たちは心を一つにし、早期実現に向けての決意を新たにしたところでございます。京都府北部地域が、更なる飛躍を遂げ、将来に夢と希望の持てるように皆さんとともに、努力してまいります。